

## 令和4年度 嵐山小学校教育の推進にあたって

### 《学校教育の重点より》

【社会情勢】 今までの当たり前が大きく変わり、予測が困難な時代へ



伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども

自ら学ぶ力

自ら律する力

- 1 広い視野と豊かな感性をもち、よりよい人生や社会を創造できる子ども
- 2 様々な学びを生かし、社会的・職業的自立を果たすことができる子ども
- 3 多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となることができる子ども

学校運営の5つの柱



- 1 『いのち』  
～子どもの命を守りきる～
- 2 『よりそい』  
～多様な子どもを誰一人取り残さない教育を進める～
- 3 『つとめ』  
～教職員の職責を自覚し、研鑽することで、教育の質を高める～
- 4 『ひろがり』  
～カリキュラム・マネジメントの視点をもって社会に開かれた教育課程を実現する～
- 5 『つながり』  
～校種間連携・接続により子どもを支える～

「生きる力」を育む15の取組

### 《重視する視点》

- 1 主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高める
- 2 日々の授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化を図る
- 3 自他を大切にし、「公共の精神」に基づく態度を育む

「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」という

京都市の教育の理念を具現化

## 1 学校教育目標及び子ども像・教職員像・学校像

### 【嵐山小学校 学校教育目標】

自ら関わりをもち、自ら学びにチャレンジする子どもの育成

友だち大好き 学校大好き 地域大好き 嵐山の子

### 【めざす子ども像】

- ◇ 自ら課題を見つけ 学び続ける子ども 【確かな学力】  
基礎・基本の学力定着  
わかる喜び、学ぶ楽しさを感じる  
主体的に問題を見つけ、解決する  
共に関わり合い、高め合う
- ◇ あいさつを自発的にできる子ども 【豊かな心】  
失敗を恐れず前向きにチャレンジする子ども  
互いのよさを認め合う  
目標に向かって努力する
- ◇ 元気いっぱい 活動する子ども 【健やかな体】  
基本的生活習慣の確立  
健康と安全に关心をもち実践する  
安全・防災への意識を高め、命を守る

### 【めざす学校像】

- ☆『子どもも大人もかしこくなる学校』(大人：教職員・保護者・地域)
- ◇新学習指導要領の理念に向けて実践する学校
- ◇失敗をおそれずにチャレンジし、課題に向かって積極的に取り組む学校
- ◇夢や希望をもち、ともに高め語ることができる学校

### 【めざす教職員像】

- ☆目指す子ども像、学校像を語り合う教職員
- ◇個々の持ち味、専門性を發揮し、挑戦し続ける教職員
- ◇子どもを中心に考え、子どもの思いを捉え指導しきる教職員
- ◇健康で活気あふれる教職員
- ◇情熱をもち、協働して教育活動を実践する教職員
- 漏れのない「報告・連絡・相談」で連携の強化を図る
  - ・学年や部での組織的な取組
  - ・子ども、保護者の思いを理解し、迅速、丁寧な対応  
(家庭訪問、電話連絡、連絡帳の活用など)
  - ・人間関係作り